

支援情報等のお知らせ

- 子ども・若者支援協議会からのお知らせ
 - 1 広域通信制高校に入学する県内生徒、4年連続千人超え！
 - 2 県・市町村青少年相談担当職員東毛地区研修会の参加者募集
 - 3 ひきこもり講演会「ひきこもりの理解 私にできること」
 - 4 ひきこもり家族教室『関わり方の工夫』こんなときどうする？
 - 5 孤独・孤立対策「つながりサポーター」養成講座開催のご案内
- 自立支援に関するイベント等の情報
 - 6 ほっとスペース「虹色のカフェ」のご案内
 - 7 県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ45」
- 民間活動団体等の紹介
 - 8 前橋市 Amazon物流拠点「群馬前橋デリバリーステーション」

1 調査報告：広域通信制高校に入学する県内生徒、4年連続千人超え！

多様な学び方の進学先として広域通信制高校（入学できる都道府県数が3カ所以上）への関心が高まっている中、本県では、令和6年度（実績）は1,320人で過去最高、前年比6%増になりました。

令和7年度は5月時点で1,215人、4年連続で千人を超えています。特に中学校卒業後に広域通信制高校を進学する子どもたちが増えていて、令和7年度の新入学は863人で過去最高となっています。

県子ども・若者支援協議会では、県内の子どもたちの広域通信制高校（実施校）への進学実態を把握するため、実施校の分校（〇〇キャンパスや〇〇学習センター等）、実施校に在籍する生徒を学習面や生活面で支援するために実施校・設置者が提携を認めるサポート施設（通称「サポート校」）の協力を得て入学者数を調査しています。

【調査結果】

令和6年度実績

全入学者数 1,320人

（新入学783人、転入学480人、編入学57人）

令和7年度（5月末現在）

全入学者数 1,215人

（新入学863人、転入学299人、編入学53人）

上記の調査結果は県HPでご覧いただけます。

<https://www.pref.gunma.jp/page/3661.html>

2 「県・市町村青少年相談担当職員東毛地区研修会」の参加者募集

県子ども・若者支援協議会では、学校に行きにくさを感じる子どもの自己肯定感を育むをテーマに下記のとおり研修会を開催します。

近年、さまざまな理由で学校に行きにくさを感じている子どもたちが増えています。時には、不安を抱え自己肯定感が低く不安定な心理的状态の時に高校進学、転学や中途退学などの進路選択を迫られるこ

とがあります。そんな時の進路選択は本人にとって不本意な結果になる場合も考えられます。

私たち支援者は、子どもたちが抱える不安に寄り添いながら、進路選択に必要な情報を的確に提供するだけでなく、子ども自身のもつ「成長する力」を育てるため、自己肯定感を高める等の適切な支援方法について理解を深めることが肝要だと考えます。

本研修会では、専門的な知見を有する方の講演と現場の教諭や現役高校生等の生の声を聴く機会を設けることで、参加者一人ひとりの支援活動に資することを目的に開催します。

■日時 令和7年7月24日(木) 13:00~16:40 ※開場12:00

■会場 グンエイホールPAL (笠懸野文化ホール)

みどり市笠懸町阿佐見1579番地1

■テーマ 「学校に行きにくさを感じる子どもの自己肯定感を育む」
~子ども自身が、高校での多様な学び方を自ら選択できるように~

■内容

- ①基調講演「思春期における自己肯定感を高める支援とは」
講師 共愛学園前橋国際大学短期大学部 教授 上原篤彦氏
- ②高校現場から「多様な学びの環境で自己肯定感・有用感を育む生徒たち」
進行役：県立伊勢崎興陽高等学校 校長 渡部健一郎氏
発言者：県立伊勢崎工業高等学校 全日制 教諭 平井宏憲氏
県立前橋清陵高等学校 定時制昼間部 教諭 新井悠子氏
県立太田フレックス高等学校 定時制I・II部 教諭 木部誠氏
県立榛名高等学校 養護教諭 阿部由利氏
- ③ミニ講演 心療内科医の視点「思春期における不安と自己肯定感」
講師 みどりクリニック院長 鈴木基司氏
- ④意見発表 不登校経験者が語る「私立通信制高校の選択、その学校生活」
進行役：北爪喜久雄氏 (クラーク記念国際高校前橋キャンパス校長)
発言者：群馬県私立通信制高校連絡協議会加盟校の生徒たち
・クラーク記念国際高校前橋キャンパス校
・第一学院高等学校高崎キャンパス
・おおぞら高校高崎キャンパス
・わせがく高等学校太田キャンパス
・NHK学園高校

■定員200人(先着順)

申込み方法：下記URLから

・フォームのURL (インターネット)

<https://logofom.jp/form/9cfD/1044466>

・フォームのURL (LWAN)

<https://tb.logofom.st-japan.asp.lgwan.jp/form/9cfD/1044466>

申込み期限：7月18日(金)まで、定員を超えた場合は受付を終了します。

【問い合わせ連絡先】

群馬県子ども・若者支援協議会

(群馬県生活こども部 私学・青少年課 青少年育成係)

電話 027-898-3557

e-mail kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp

3

7/1 ひきこもり講演会「ひきこもりの理解 私にできること」

県こころの健康センターでは、ひきこもり講演会を開催します。

・ひきこもっている状態どのように捉え、接したらよいのか。

・ひきこもりを生きるとはどういうことか。

講師が、ひきこもり当事者と関わった経験を交えてお話しします。

講演内容は、当日会場の他に動画でも配信します。

【講演会】

日時 令和7年7月1日（日）14:00～16:00（受付開始13:00）
会場 群馬県社会福祉総合センター 8階大ホール
前橋市新前橋町13-12
講師 長谷川 俊雄氏
白梅学園大学名誉教授、Social work lab MIRAI 代表
社会福祉士/精神保健福祉士
厚労省「ひきこもり支援ハンドブック」検討委員会委員長

定員 200名（動画配信は定員なし）*参加費無料
動画配信期間 令和7年8月1日～12月26日

申込み方法 下記パターンを選択しURLから申し込んでください。

パターン① 会場参加+動画配信
URL : <https://logoform.jp/form/9cfD/1030664>
申込み期限 令和7年6月23日まで

パターン② 動画配信のみ
URL : <https://logoform.jp/form/9cfD/1031326>
申込み期限 令和7年12月26日まで

【問い合わせ先】

群馬県こころの健康センター 相談援助第二係
電話 027-263-1166

4 6/24 ひきこもり家族教室『関わり方の工夫』こんなときどうする？

ひきこもり支援センター（県こころの健康センター内）では、ひきこもりに悩んでいるご家族を対象に家族教室を開催しています。

ひきこもりに関する知識や情報、ちょっとした声かけの工夫などを学ぶことで、ご家族自身の気持ちにゆとりが生まれ、本人との関係性に変化していきます。

【参加者の声】

「皆さんのお話から元気をいただけた」
「工夫できるところが見つかった」
「気持ちに余裕が持てるようになった」
「選択肢が広がった」 etc...

- 教室の内容はCRAFT（認知行動療法）を参考にしています。
「家族の気持ちの安定が、本人の気持ちにも影響を与え、本人の状態が良くなる」という研究結果があります。
- 初めての方は個別の相談をお受けした後に、必要に応じて教室をご案内しています。参加をご希望される場合は、下記連絡先までご連絡ください。
- 家族教室で使用するテキストは県ホームページに掲載しています。
こちらからダウンロードしてください。
<https://www.pref.gunma.jp/page/632294.html>

【6月の家族教室】

教室：6月24日（火） 第4火曜日 13:30～16:00
内容：『関わり方の工夫』～こんなときどうする？～
前半：家族教室 13:30～15:00（受付13:00）

後半：家族の居場所 15:00～16:00（受付14:30）
◆ご家族同士で感想等をお話しする時間です。
◆前半「家族教室」に参加したことのある方は、
後半「家族の居場所」のみの参加も可能です。
会場：群馬県こころの健康センター（前橋市野中町368）
連絡先：ひきこもり支援センター
専用ダイヤル 027-287-1121
月～金 9:00～17:00（祝日・年末年始は除く）
※電話が集中した場合つながりにくいことがあります。

■支援者の方の参加もお待ちしております。
※支援者の方は 027-263-1166 へお願いします。

5 孤独・孤立対策「つながりサポーター」養成講座開催のご案内

群馬県社会福祉協議会では、孤独・孤立に対する理解や意識を社会全体で高めていくため、「声を上げやすい」「声をかけやすい」社会の実現に向けて「つながりサポーター」の養成講座を県内各地で開催します。

つながりサポーターは「何か特別なことをする人」「しなければならぬ人」ではありません。孤独・孤立の問題について知識を身につけ、身の回りの人に関心を持ち、できる範囲で困っている人をサポートする人です。福祉に携わっている方だけでなく、幅広く、どなたでも参加できます。

【日時・会場】 講座はいずれの会場も14:00～15:30です
6月24日（火）沼田市保健福祉センター（定員80名）
6月27日（金）高崎市総合福祉センター（定員70名）
7月1日（火）中之条役場（定員85名）
7月7日（月）太田市福祉会館（定員60名）
7月9日（水）前橋市総合福祉会館（定員100名）

【対象】
福祉施設・事業所、社協、行政、自立相談支援機関、
地域包括支援センター、NPO等
孤独・孤立対策に関心のある方

【申込み方法】
下記URLから、各会場開催日の1週間前まで（先着順）
<https://www.g-shakyo.or.jp/departament/shisetsu/70926.html>

【問い合わせ先】
群馬県社会福祉協議会 地域福祉局 施設福祉課
電話：027-212-8287
孤独・孤立対策についてはHPをご覧ください。
<https://kodoku-koritsu.gunma.jp/>

6 6/20 ほっとスペース「虹色のカフェ」のご案内

NPO法人虹色のかさでは、ひきこもりや不登校の方、生きづらさを感じている方、安心できる場所が欲しい方などを対象に、毎月、ほっとスペース「虹色のカフェ」を開催しています。

日々の生活の中で生きづらさを感じている方がほっとできる居場所です。コーヒーなどの飲みものやお菓子を用意してお待ちしています。カフェの中では作業など、何かをするお手伝いもできますし、ただのんびりと過ごすこともできます。短時間でもOKです。お気軽にお立ち寄りください。

日時 6月20日(金) 14:30~16:30
<7/18(金)、8/29(金)も開催します>
場所 吉岡町大久保2338-4 よしおかROBAROBA
(吉岡町立駒寄小学校交差点西)
費用 無料(予約不要)
利用ルール

- ・名前は言わなくてもOK(ニックネーム等での参加可)。
- ・ご家族等と一緒に来ても大丈夫です。
- ・個人の秘密は守ります。

*この事業は、群馬県の「令和7年度群馬県ひきこもり支援のための広域的居場所づくり事業」委託事業で実施しています。

事業概要：<https://www.pref.gunma.jp/page/647169.html>

【問い合わせ先】

特定非営利活動法人 虹色のかさ
電話：080-5794-2194(平日の9時~17時)
メール info@youngcargunma.com

虹色のかさの活動の詳細はHPをご覧ください。
<https://youngcargunma.com/?p=684>

7 群馬県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ45」 中古車購入でのトラブルに注意してください!

群馬県消費生活センターには中古車購入でのトラブルに関する相談が寄せられています。自動車の取引は高額になるケースが多いため、トラブルに遭わないよう特に注意しましょう。

【群馬県消費生活センターに寄せられた相談事例】

- ・中古車販売店と購入契約をした数時間後にキャンセルを申し出たところ、違約金がかかると言われた。
- ・インターネット検索で見つけた中古車を画像だけ確認して注文した。キズ等の詳細が不明なので解約したい。
- ・購入した中古車に当初から不具合があり、購入から半年で動かなくなってしまった。購入時に整備費用を支払っているのに自費で修理するのが納得いかない。
- ・ドライブレコーダー搭載と説明を受けて購入した中古車に、レコーダーがついていなかった。
- ・「修復歴なし」と説明された中古車を購入したが、車体の一部パーツが交換されていた。

【トラブルに遭わないために】

- ・自動車購入は、クーリング・オフの対象外です。いったん契約すると、原則として契約書の内容に拘束されますので、契約を締結する前にしっかり内容を確認しましょう。特にキャンセル料に関しては、金額とともにどの時点から発生するのか等についても理解したうえで契約することが重要です。
- ・契約前に相手となる事業者の情報収集をしっかり行っておくと良いでしょう。
- ・中古車の購入条件は様々ですので、車の状態、整備内容、保証内容を十分に確認して慎重に判断しましょう。
- ・「修復歴なし」とは、修理を一切していない状態とは限りませんので注意してください。

★こまったら、まず相談!!

消費者ホットライン「188(いやや)」

※最寄りの消費生活センターを案内する全国共通3桁の電話番号です

《お問い合わせ》

群馬県消費生活センター 027-223-3001

<https://www.pref.gunma.jp/page/8392.html>

8 民間活動団体等 Amazon物流拠点「群馬前橋デリバリーステーション」

Amazonの職場のダイバーシティの視点は、人種、民族性、性別、年齢、身体的および精神的な能力、性的指向、宗教的信念、文化、言語、教育、および職業経験や人生経験など多くの側面によって豊かになると考えます。

このため、Amazonの活動では、多様なバックグラウンドを持つ人材を積極的に採用し、インクルーシブな職場を育成しています。

Amazon物流拠点として、2023年秋に群馬県内に初めて前橋市大渡町にオープンした新しい配送拠点、群馬前橋デリバリーステーション（DS）は、空調も完備したシンプルかつお洒落なつくりとなっていて、多様な働き方ができる職場として多くの方を受け入れています。

群馬前橋デリバリーステーション（DS）では、お客様へ笑顔を届ける前に商品が通過する最後のステップとして、梱包済みの商品の仕分け・運搬を行います。具体的には、

- ・ラインが効率よく流れるようにコントロールしながら商品を流す作業
 - ・仕分けをする際の情報となるラベル貼り作業
 - ・ラベルの情報をもとに、枝分かれしているラインへ手仕分け作業
 - ・仕分けられた商品をロールボックス（台車やラック）に積む作業
 - ・規格外の商品をエリアごとに仕分ける作業
- などの作業があります。最大で10～15キロ程度の重量物を扱います。

業務は60～90分ごとに切り替わるので、自分のライフスタイルに合わせたメリハリのある働き方ができます。簡単な作業で、わからないことは周りの仕事仲間がサポートします。職場環境は明るくてきれいで働きやすいです。未経験者でも大歓迎です。

仕事の様子はこちらの動画をご覧ください。

<https://shigoto.amazon.co.jp/job-roles/delivery-station-associate#/>



次号は、2025年7月中旬を予定しています。

本メルマガを、皆様の周りの方にも周知いただければ幸いです。

また、子ども・若者支援に関する情報等の提供もお待ちしています。

メルマガを新規で受信希望する方は、「所属・氏名・メールアドレス」を『kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp』までお送り下さい。

群馬県子ども・若者支援協議会

- ▼ 事務局 群馬県前橋市大手町1-1-1 群馬県生活こども部
私学・青少年課内（県庁舎 12階南フロア）
- ▼ TEL 027-898-3557
- ▼ e-mail kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp
- ▼ HP https://www.pref.gunma.jp/soshiki/50/#sp_headline_3
県HP「子ども・若者への支援」

